

令和7年春の農作業安全運動強化期間 4月15日～6月30日

今日も無事故で家族が待つゴールへ

1年間に全国で約240人の方が、農作業事故により亡くなっており、ここ数年減少傾向ですが、岡山県では毎年10件前後の死亡事故が発生しており高止まりが続いています。

農作業中の死亡事故のうち最も多いのは、乗用型トラクターによるもので、転落・転倒などの事故が後を絶ちません。

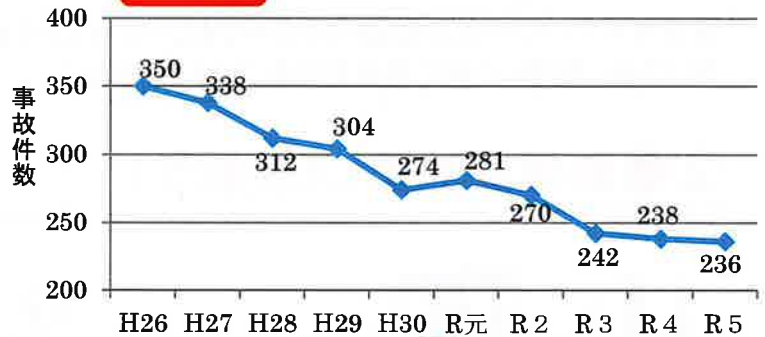
特に高齢になると、今までと同じ操作をしているつもりでも、誤操作をしてしまうことがあります。慢心は禁物です。

不慮の事故は、あなたの大切な家族の生活を一変させます。安全第一を心掛けて農作業に取り組んでください。



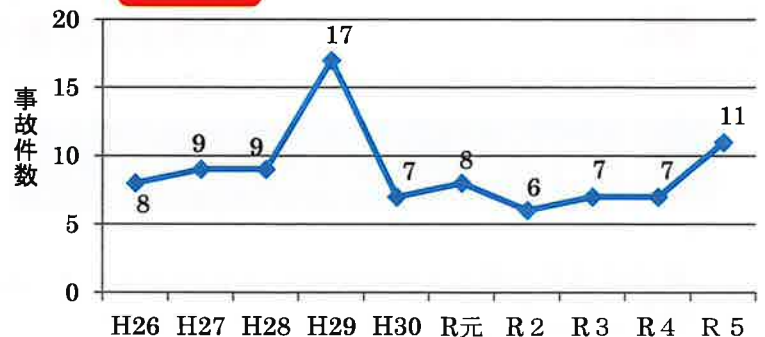
年次別農作業死亡事故発生状況

全国



死亡事故の8割以上は高齢者です！

岡山県



事故の重大化を防ぐために！

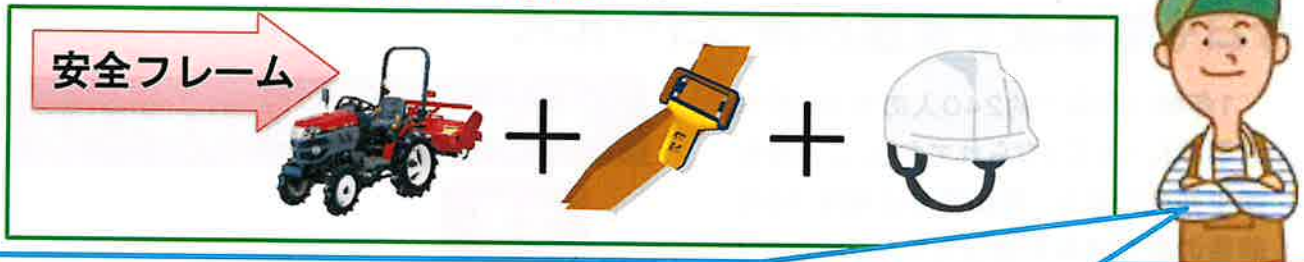
事故対策に完全はありません。事故を起こしたとしても、すぐに救助が行われれば助かる命もあります。次のことを日頃から心掛けましょう。



- 家の近くであっても、携帯電話を携帯しましょう。
- その日の作業計画(内容・場所)を家族に伝えておきましょう。
- 道案内ができるように、ほ場までの経路上の目印を確認しておきましょう。

安全対策を見直そう！

①安全キャブ・フレームのあるトラクターを使用し、シートベルト・ヘルメットの着用を徹底しましょう！



安全キャブ・フレームのあるトラクターでもシートベルトを着用しなければ、安全域の中に身体が固定されないため、転倒した際に身体を守ることはできません。

②農業機械は正しく使おう！



体調管理にも気をつけよう！

春先の季節の変わり目は体調に注意が必要です。体調が悪い時は無理せず休養しましょう。

●こまめに休憩をとり、無理のない作業計画をたてましょう

●**熱中症**に注意しましょう！

まだ身体が暑さに慣れていない時期こそ注意が必要です！

- 高温時の作業は避けましょう
- 単独作業は避けましょう
- こまめに休憩 & 水分補給しましょう
- 熱中症対策アイテムを活用しましょう

注意





ストップ！農作業事故

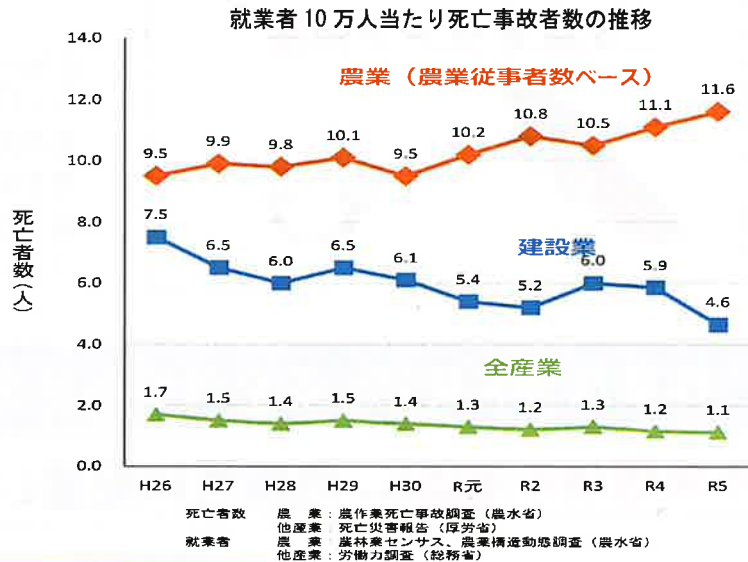


安全第一を目標に

岡山県では毎年、農作業中の死亡事故が10件前後発生しており、高止まりが続いています。今一度、身の回りの環境を確認し、事故を起こさない意識を持って農作業に取り組みましょう。

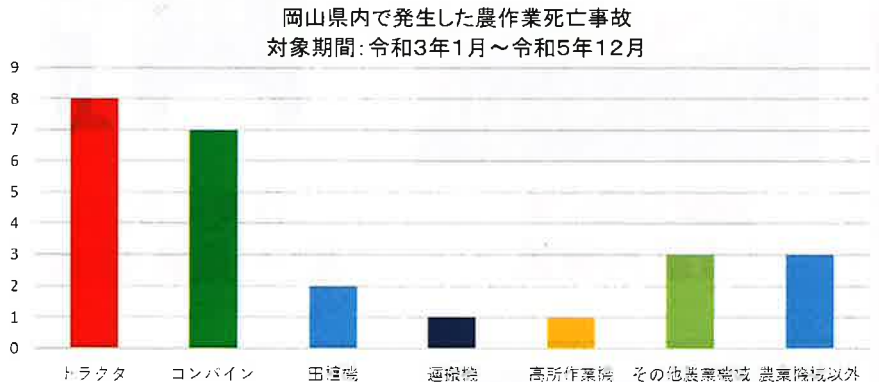
実は農作業事故は多い

全国で年間約240人の方が農作業中の事故で亡くなられています。農業者の死亡事故は、他の産業と比べて非常に高い割合で発生しています。家族経営が多い農業では、他産業と比べて、労働衛生法等に基づく安全対策が普及していないことも一因となっています。



トラクター・コンバインの事故に注意！

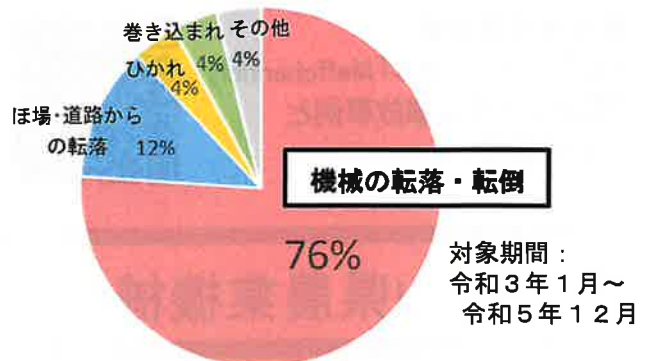
農業機械作業中の死亡事故が多数を占めています。全国的にトラクターによる事故が多くなっており、岡山県でもトラクターによる死亡事故が多くなっています。また、岡山県の特徴としてコンバインの事故が多く発生しています。



死亡事故の主な要因は 機械の転落・転倒

農作業死亡事故の要因は、「機械の転落・転倒」が約7割を占めています。また、高齢者による事故が約7割を占めています。

岡山県内で発生した農作業死亡事故の要因



乗用型トラクターの安全対策を見直そう！

安全キャブ・フレームのあるトラクターを使用し、シートベルト・ヘルメットの着用を徹底しましょう！

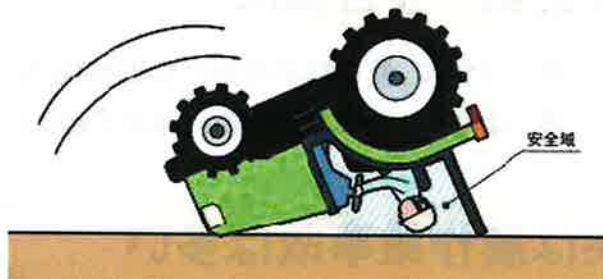
安全フレーム



3点セットで対策



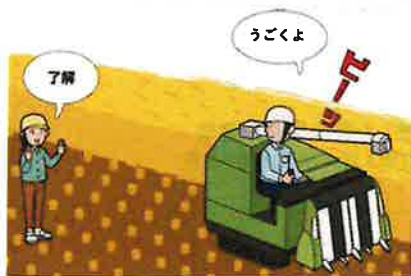
○ 安全フレームによる安全域



- ・転倒時に安全域が作られることによって、運転者がトラクターの下敷きになるのを防ぎます。
- ・安全フレームの効果を発揮するために、シートベルト・ヘルメットの着用は必須です。

作業環境を確認し安全対策を見直そう！

作業環境を確認し、危険性に配慮しましょう！



**稼働の前には
「合図」の習慣**



**作業にあつた
正しい服装・装備で**



**危険が潜む場所は
草刈りで見通しをよ
くしましょう。**

動画でチェック

動画を参考に、作業環境や安全対策について確認しましょう。

農林水産省公式
YouTube チャンネル「Maffchannel」
「農業における事故事例と
安全対策」



(一社)日本農業機械化協会
「シートベルトしていますか」



岡山県農業機械作業安全運動推進協議会